

# モーツァルト室内管弦楽団 第186 回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester Japan / 186.Regulärkonzert



2019年1月12日(土)午後2時■いずみホール

Samstag, 12. Januar, 2019 14Uhr Izumi Hall Osaka

特別協賛◆  高松建設  
TakaMatsu

- 主催：NPO 法人モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org>
- 協賛：いずみホール〔一般財団法人 住友生命福祉文化財団〕
- マネジメント：大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504

\*2017年2月モーツァルト室内管弦楽団はNPO法人となりました。

## モーツァルト室内管弦楽団 第186回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester/186. Regulärkonzert

2019年1月12日(土)午後2時 ●いずみホール

Samstag, 12. Januar, 2019 14Uhr Izumi Hall Osaka

### 〈懐かしのクラシック〉Ⅳ

スッペ

Franz von Suppe(1819-1895)

喜歌劇《軽騎兵》序曲

“Light Cavalier” Overture

ブラームス

Johannes Brahms(1833-1897)

ハンガリー舞曲 第1番 ㊦短調(管弦楽編曲:ブラームス)

Hungarian Dance No.1 in G minor (Orchestrated by Brahms)

ハンガリー舞曲 第4番 嬰へ短調(管弦楽編曲:ユオン)

Hungarian Dance No.4 in F sharp minor (Orchestrated by Juon)

ハンガリー舞曲 第5番 ㊦短調(管弦楽編曲:パーロウ)

Hungarian Dance No.5 in G minor (Orchestrated by Parlow)

ハンガリー舞曲 第6番 二長調(管弦楽編曲:パーロウ)

Hungarian Dance No.6 in D major (Orchestrated by Parlow)

ドヴォルザーク

Antonin Dvořák(1841-1904)

スラヴ舞曲 第10番 ㊦短調 作品72-2

Slavonic Dance No.10 in E minor op.72-2

交響曲 第9番《新世界より》より 第2楽章 ラルゴ

The 2nd Movement “Largo” of the Sinfonie No.9

シベリウス

Jean Sibelius(1865-1957)

交響詩《フィンランディア》 作品26-1

Symphonic Poem “Finlandia” op.26-1

\* \* \*

ヨハン・シュトラウス二世

Johann Strauss II(1825-1899)

円舞曲《ウィーンの森の物語》 作品325\*

Waltz “Tales from Vienna Woods” op.325\*

レハール

Franz Lehár(1870-1948)

円舞曲《金と銀》

Waltz “Gold and Silver”

ケテルビー

Albert Ketèlby(1875-1959)

《ペルシャの市場にて》

“In a Persian Market”

チャイコフスキー

Peter Ilyich Tchaikovsky(1840-1893)

アンダンテ・カンタービレ

Andante cantabile

バレエ組曲《くるみ割り人形》より 《花のワルツ》

“Waltz of the Flowers” from “The Nutcracker Ballet”

エルガー

Edward Elgar(1857-1934)

愛の挨拶

Salut d’amour

行進曲《威風堂々》 第1番 作品39

Pomp and Circumstance March No.1 op.39

ツィター：河野 直人\* / Zither Solo : Naoto Kono\*

管弦楽：モーツァルト室内管弦楽団 / Orchestra : Mozart-Kammerorchester Japan

指揮とお話：門 良一 / Conductor-Narrator : Ryoichi Kado


www.kincho.co.jp

温感香料で温まる 香る

# どんと

貼れる うず型フィット!



生姜 香る

貼れる うず型フィット!

ぽかぽか



よもぎ 香る

貼れる うず型フィット!

ほのかな香り

### ■スッペ:《軽騎兵》序曲

フランツ・フォン・スッペ(1819-1895)はウィンナ・オペレッタの開祖とっていいだろう。パリでオフエンバックが始めたオペレッタがウィーンに輸入され、その影響下に「美しきガラテア」や「ポッカチオ」を作曲して大当たりを取った。生涯に200曲近いオペレッタを作曲している。「軽騎兵」はその1曲であるが、今日ではその序曲のみが知られている。曲想の全く異なる音楽が巧妙につなげられたいわゆる接続曲形式で作られていて非常に聴きやすい。

### ■ブラームス:ハンガリー舞曲

第1番ト短調、第4番嬰へ短調、第5番ト短調、第6番ニ長調  
ブラームスは1850年代にハンガリーのジブシー(今ではロマと言うらしいが)の音楽に興味を持ち、採譜をしてピアノ連弾曲に編曲した。管弦楽に編曲されて有名になったが、ブラームス自身が編曲したのは第1番、第3番、第10番の3曲のみである。今日演奏する第1番のほか、第4番はパウル・ユオン(Paul Juon, 1872-1940)、第5番、第6番はアルバート・パーロウ(Albert Parlow, 1824-1888)の編曲になる。他の曲ではドヴォルザークによる編曲もある。第4番は原曲(ピアノ連弾曲)通りの嬰へ短調であるが、第5、6番は原曲はそれぞれ嬰へ短調、変ニ長調である。ブラームスはジブシーの音楽をハンガリーの民族音楽と信じたので「ハンガリー舞曲」と名付けたが、真のハンガリー音楽はのちの時代のコダイやバルトークによって作品に取り入れられた。

### ■ドヴォルザーク:スラヴ舞曲 第10番 ホ短調 作品72-2

ドヴォルザークはブラームスの影響を強く受けている。ブラームスは自身の「ハンガリー舞曲集」が大当たりとなったのでドヴォルザークに同様の曲集を書くように勧めた。そこで生まれたのがスラヴ舞曲作品46の8曲と作品72の8曲であり、ブラームスと同様ピアノ連弾曲としてであった。ボヘミア舞曲を基本としながらも旋律等はドヴォルザーク自身によるもので、オーケストラ編曲もドヴォルザークが行った。初演当初から大好評を得たようで、本日演奏する曲は通し番号で第10番と呼ばれるが、最も有名な曲であろう。

### ■ドヴォルザーク:交響曲 第9番 ホ短調 作品95 《新世界》より 第2楽章 ラルゴ

ドヴォルザークは1892年から95年までニューヨークのナショナル音楽院の院長としてアメリカに滞在した。弦楽四重奏曲《アメリカ》、チェロ協奏曲とこの《新世界交響曲》がこの時代の作品であり、これらはドヴォルザークの代表作とっていいだろう。「アメリカの民謡に素材を求めた」と解説されることもあったようだがそれは誤りで、遠くアメリカにあって望郷の念にかられるあまりに作られた彼の故郷ボヘミアへのあこがれを表現した音楽である。イングリッシュ・ホルンによって奏でられる名旋律は歌にもなっている。

### ■シベリウス:交響詩《フィンランディア》

フィンランドは昔はロシアの領土でその圧政に長く苦しんだが、作曲家シベリウスは交響詩《フィンランディア》によってフィンランド国民のロシアへの反撃意識を高めたとされる。曲はロシアの圧政を象徴するような重苦しい音楽で始まるが、間もなく戦闘的な調子に代わり、中間の讚美歌的なメロディでフィンランドの愛国心を歌い上げる。このメロディはフィンランドの第2の国歌と言われるほどである。

### ■ヨハン・シュトラウスⅡ世:円舞曲《ウィーンの森の物語》

ヨハン・シュトラウスⅠ世の長男で、世にヨハン・シュトラウスと

呼ばれているのはこのⅡ世の方である。弟ヨーゼフやエドゥアルドも音楽家である。生前から作曲家・演奏家として非常に高い評価を受け、ワルツ王と呼ばれた。500曲におよぶ作品を残している。今日演奏する《ウィーンの森の物語》や他にも《芸術家の生涯》といったワルツは昔は頻りに演奏されたようだが現代ではほとんどか聴かれなくなっているように思う。今日ご出演のツイター奏者の河野氏もそう言われている。

### ■レハール:金と銀

レハールはスッペやヨハン・シュトラウスが興したウィンナ・オペレッタをおよそ50年後に再興した「ウィンナ・オペレッタ中興の祖」である。代表作《メリー・ウイドウ》はヨハン・シュトラウスの《こうもり》とならぶ傑作といえよう。ワルツ《金と銀》は彼がまだ軍楽隊の隊長を務めていた20代の作品である。ヨハン・シュトラウスの作品に次ぐウィンナ・ワルツの名曲といえよう。レハールのメロディは独特で非常に親しみやすい。

### ■ケテルビー:ペルシャの市場にて

アルバート・ウィリアム・ケテルビーはイギリス、バーミンガム出身で、劇場オーケストラの指揮者、放送局の作曲・編曲者、楽譜出版社の部長、レコード会社のディレクターなどとして活躍するかわら、作曲した小品が世界的にヒットした。エキゾチックな雰囲気のある通俗的描写音楽が多い。最も有名な「ペルシャの市場にて」は以下のようなストーリーが作曲者によって書き込まれている。「ラクダに乗った隊商が近づいてくる」「お恵みを」と叫ぶ市場の乞食たち「美しい姫君の到着」「奇術師と蛇使い」「太守の行列の通過」「再び乞食の叫び声が聴かれ、姫君が帰り仕度を始め、隊商たちが再び旅に出て、市場は静まっていく」。変化に富んでいて、非常にわかりやすい、通俗名曲の代表的傑作といえよう。

### ■チャイコフスキー:アンダンテ・カンタービレ

原曲はチャイコフスキーが残した3曲の弦楽四重奏曲の最初の曲(作品11)の第2楽章である。トルストイを感動させたという記録が残されている。弦楽四重奏だけでなく弦楽オーケストラのかたちでも単独で広く演奏されている。

### ■チャイコフスキー:バレエ組曲《くるみ割り人形》より《花のワルツ》

チャイコフスキーが《白鳥の湖》、《眠れる森の美女》に続いて作曲したバレエ音楽がクリスマスに基づいた題材の《くるみ割り人形》である。《花のワルツ》は作曲者自身が構成したバレエ組曲の最後を飾っているが、尊敬していたヨハン・シュトラウス(Ⅱ世)のスタイルを模して作られている。まさに華麗そのものの音楽である。

### ■エルガー:愛の挨拶

今日演奏する最後の2曲であるエルガーの作品は「懐かしのクラシック」というには少々新しい部類に入るだろう。エルガーは作曲家不毛の地といわれたイギリスに久しぶりに登場した作曲家である。比較的最近日本人に親しまれてきたようで、私の指導している学生のオーケストラでも演奏希望曲に交響曲やチェロ協奏曲が登場するようになった。「愛の挨拶」はエルガーのポピュラー名曲でピアノ独奏、ピアノとヴァイオリン、小オーケストラと様々な形で演奏されている。

### ■エルガー:行進曲「威風堂々」第1番

エルガーの最もよく知られた作品であろう。中間部の有名な旋律はイギリスの第2の国歌といわれ、ロンドンで行われる有名なクラシック音楽祭、プロムス音楽祭はこの曲の満場の大会で終わるのである。

東証一部上場 (証券コード:1762)



# 株式会社 高松コンストラクショングループ (持株会社)

## 高松建設 株式会社

阪神・淡路大震災の揺れに耐えた建築基準法の15%アップの耐震性を標準設計。  
賃貸マンション・ビル・工場から高齢者施設まで、あらゆる建設工事の設計施工

### やまと建設 株式会社 (大阪)

近畿圏における増築・改築・改修から建物の維持管理・メンテナンス

### 株式会社 日本建商 (大阪)

近畿圏における不動産全般、ビル・マンション管理

### やまと建設 株式会社 (東京)

首都圏における増築・改築・改修から建物の維持管理・メンテナンス

### 株式会社 日本建商 (東京)

首都圏における不動産全般、ビル・マンション管理

### 株式会社 住之江工芸

ハイグレード・ハイクオリティーの造付家具から、  
住宅・商業施設の増改築・インテリアリフォームの設計施工

### J Pホーム 株式会社

耐震性・耐火性・耐風性・遮音性等を誇る他に例を見ない  
耐久性に富んだ鉄筋コンクリート造の戸建住宅

### 株式会社 金剛組

創業より1400年以上の歴史。宮大工の匠の技を伝承する  
伝統技術と近代技術を融合させた神社仏閣建築

### 株式会社 中村社寺

創業より1000年以上の歴史。中部圏地盤の神社仏閣建築

東証一部上場 (証券コード:1865)

## 青木あすなろ建設 株式会社

ダム・トンネル・橋梁などの大型土木工事・無人化土木工事、  
商業施設・超高層ビル・分譲マンションの設計施工

### あすなろ道路 株式会社

道を美装する舗装工事・道路造り

### 青木マリーン 株式会社

関西空港・中部空港等大型海上埋立工事のエキスパート。  
浚渫・埋立・造成・港湾・河川に関する土木構造物の設計施工

### 東興ジオテック 株式会社

斜面保護、地盤改良、地中連続壁、保温保冷、耐水工事及び  
ダム、道路等の岩盤発破・破砕工事

### みらい建設工業 株式会社

港湾・海上工事・環境保全関連工事、生活・文化・ビジネス関連  
施設等の設計施工

### 株式会社 エムズ

オフィスビル全般の改修・リニューアル、  
保全維持・用途変更等のリノベーション工事

### 新潟みらい建設 株式会社

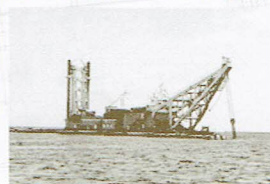
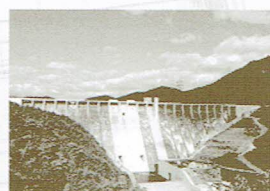
土木工事、舗装工事、アスファルト混合物の製造・販売

### 株式会社 島田組

埋蔵文化財の発掘調査、分析、保存移築及び史跡整備

### 日本オーナーズクレジット 株式会社

建築工事に関わる融資事業



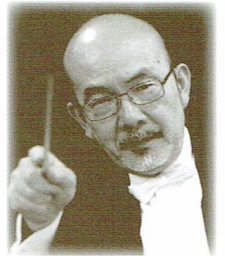


## 河野 直人 ● ツィター Naoto Kono, Zither

父であり、世界的なツィター奏者河野保人にツィター、ヴァイオリン、ピアノ、作曲の手ほどきを受け、幼少時代はドイツ、ハイデルベルクで過ごす。1980年、再度渡欧、各国にてツィター音楽修行に励む。各地でのコンサート、ライブ活動は、各地の新聞紙上に掲載され、その才能、極めて美しい音色、繊細な感性、テクニック、音楽性、構成力を絶賛される。1992年には中国上海音楽学院に招かれ、当院のオーケストラと協演、「河野保人・河野直人で奏でるツィター演奏会」を開催。中国史上初めてツィターが鳴り響き多くの人々に感銘を与え日中文化交流を深める。東京渋谷「小劇場ジャンジャン」でのコンサートは20回を数えた。現在、ソロ活動の他、クラシック、ジャズ、ポップス、フォーク等様々なミュージシャンとのアルバム制作、コンサート、また人気テレビドラマ、映画のサウンドトラック、コマーシャル等の音楽制作にも多数参加。2006年5月にaoyama-recordsより「愛しのツィター」(AYR-003)、2007年4月にオーマガトキより「ツィターに恋して」(OMCA-1062)を全国リリース。2007年5月にハワイ・マウイ島でコンサートを行い、その際のライブ録音盤「On the Strings of Heaven」を全米にてリリース。ツィターの普及に努めている父の影響を受け継ぎ、楽器ツィターの新たな可能性を追求し新境地を開拓。天性とも言える多彩な音楽性を発揮しレパートリーも幅広く、現代的でシャープな感性の演奏スタイルは、多くのファンに将来を囑望されている。

## 門 良一 ● 指揮 Ryoichi Kado, Dirigent

1939年大阪生まれ。1962年京都大学理学部物理学科卒業、67年同大学院終了。京都大学オーケストラには学部、大学院を通じて10年間在籍し、フルート奏者、指揮者を務め、同オーケストラの発展に多大な貢献をする。また、客演指揮者の故近衛秀麿、故朝比奈隆、故岩城宏之、故若杉 弘、故奥田道昭、秋山和慶各氏等のもので副指揮者を務め、薫陶を受ける。70年モーツァルト室内管弦楽団を創立、常任指揮者となり、同楽団を日本有数のプロ室内オーケストラに育て上げた。モーツァルト、ハイドン等の古典派の作品を35人の室内オーケストラで優雅に繊細に演奏する独自のスタイルを確立している。企画力にも優れ、モーツァルトの「予約演奏会の再現」やオペラ《イドメネオ》の世界初ノーカット上演などの大きな企画を成功させている。また、世界的名手との協演も多く、ピアノのマリア=ジョアオ・ピリス、シプリアン・カツリス、ヴァイオリンのライナー・キュッヒル、ホルンのペーター・ダム等との協演においては、ソリストの絶大な信頼を得て大成功を収めている。近年は古典派だけでなく前期ロマン派やフランス音楽においても、企画、演奏両面で注目すべき成果を上げている。アマチュアの指導にも熱意を持ち、京都産業大学神山交響楽団の音楽監督・常任指揮者を創立時より務めている。モーツァルト研究者として知られ、1982～2011年NHK大阪文化センター、1992～2011年同神戸文化センターにおいて「モーツァルトを聴く」の講師を務める。京都産業大学名誉教授。



## ● NPO法人モーツァルト室内管弦楽団 Mozart-Kammerorchester Japan

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、48年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いずみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シプリアン・カツリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シテリオペラの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09～11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を開催。また10年からはくべートヴェン・シリーズを、15年からは〈創立45周年シリーズ〉を開始している。2017年2月NPO法人となる。

《メンバー》 コンサートマスター 釋 伸司 インспекター 中川 敦史 ライブラリアン 本多 智子

第1ヴァイオリン	第2ヴァイオリン	チェロ	フルート	ファゴット	トランペット	ティンパニ
釋 伸司	中川 敦史	日野 俊介	本庄ちひろ	佐伯 利之	大西 由起	池田 健太
本多 智子	黒江 郁子	石 豊久	廣永 美優	倉永 晴美	森下 智稔	
稲庭真理子	田原口安代	大西 泰徳	奥田 裕美		中島 真	打楽器
谷口 朋子	徳田 雅子	境 綾子		ホルン	滝村 洋子	渡辺友希子
松本 紗希	幣 晴代		オーボエ	佐藤 明美		松岡 直樹
森住 憲一	清水めぐみ	コントラバス	藤原 博司	垣本奈緒子	トロンボーン	辻 翔太郎
北村 奈美		関 一平	上品 綾香	御堂 友美	鈴木 智	
	ヴィオラ	土屋 綾子		岩井理紗子	山田 貴之	ハープ
	道幸 明美		クラリネット	岡田喜美子	寺西 耀	摩寿意英子
	三上 哲		高橋 博	米崎 星奈		
	難儀 育子		久木山小夜子		テューバ	
	坂元 彰子				三角 顕史	

